

白鶴美術館
2022年春季展



白鶴

本館

中国陶磁編 モノクロームの世界
+ 色絵の世界

2022 3/5(土) → 6/5(日)

月曜日
但し3月21日(祝・月)は開館
3月22日(火)を休館
休館日

コレクション

探訪

2022 4/23(土) ↓ 6/5(日)
休館日 月曜日

新館

ペルシア絨毯編
メダリオンデザイン + 総柄文様



- 入館料**
- 3月5日(土)~4月22日(金) *新館休館中
大人:600円/大学・高校生:400円/中・小学生:200円
(65歳以上は400円/大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引)
 - 4月23日(土)~6月5日(日)
大人:800円/大学・高校生:500円/中・小学生:250円
(65歳以上は500円/大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引)
- イベント**
- 講演会 5/5(祝・木) 午後2時~3時30分
 - 文化財特別講座 4/29(祝・金) 午後2時~3時30分
 - 新館レクチャー 4/23(土) 午後2時~3時30分
 - ワークショップ 5/1・8・15・22・29(日) 午後1時~3時
 - アート・トーク 6/5(日) 午後2時~3時30分
 - スライド解説 3/6・20(日)、5/14・28(土) 午後2時~3時

●開館時間:午前10時~午後4時30分(入館は午後4時まで)

*団体でご来館の際には、事前にお電話にてご確認ください。
*イベントは要入館料、定員40名、状況に応じて中止する場合があります。

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

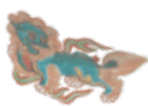
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1
お問い合わせ先 TEL/FAX 078-851-6001

白鶴美術館

<https://www.hakutsuru-museum.org/>
*携帯電話のご利用マナーにご協力ください。



HAKUTSURU SAKE



白鶴コレクション探訪

本館

中国陶磁編 モノクロームの世界 + 色絵の世界

2022 3/5(土) → 6/5(日) 休館日 月曜日、但し3月21日(祝・月)は開館
3月22日(火)を休館

白鶴美術館コレクションの柱のひとつとなっているのが、優品を数多く含む中国陶磁器です。今回の展示では、世界に誇る名品を二つのテーマに分けてご紹介したいと思います。

ひとつは宋時代の黒釉や搔落（かきおとし）技法を軸とするモノクロームの世界。もうひとつは、明時代の五彩を軸とする色彩豊かな色絵の世界です。

「モノクローム」のなかでも最も際立つ作品のひとつが、北宋時代の名品「白地黒搔落龍文梅瓶」（重要文化財）です。黒と白のコントラストにより迫力のある龍の姿が浮かぶ美しい器ですが、技法の原点には白い器への憧憬があったといわれます。

陶磁器が豊かな色彩を得る明時代。一気に華やかに、そしてより自由に色絵が描かれるようになります。赤を基調とし、金彩で彩られた金欄手の名品「金欄手瓢形瓶」や、明時代においても格別の繊細さを有する「五彩武人図有蓋壺」などは、この時代の陶磁器を愉しむに相応しい作品です。

モノクロームと多色をテーマに漢時代から清時代まで、中国陶磁史を彩る各作品の魅力をご堪能頂ければと思います。



新館

ペルシア絨毯編 メダリオンデザイン + 総柄文様

2022 4/23(土) → 6/5(日) 休館日 月曜日

今回、新館も二つのテーマで近代ペルシア絨毯を展示致します。

ひとつは、メダリオン・デザインの絨毯。絨毯の中央に大きく配されたメダル形が迫力のある華やかな印象を醸し出し、ペルシア絨毯の代名詞ともなっています。もうひとつは総柄文様の絨毯。ペルシアの絨毯は繊細な文様構成が多いことでも知られています。正確に反復する文様が生み出す精緻な美しさをご紹介します。

作品の名称と時代

1	2	1 唐三彩鳳首瓶(とうさんさいほうしゅへい) 中国・唐時代
3	4	2 重要文化財 白地黒搔落龍文梅瓶(しろじくろかきおとしりゅうもんめいびん) 中国・北宋時代
5	6	3 五彩武人図有蓋壺(ごさいぶじんずゆうがいこ) 中国・明時代
		4 金欄手瓢形瓶(きんらんてひさごがたへい) 中国・明時代
		5 セムナン ペルシア北部 20世紀初期
		6 ナーイーン ツデシク ペルシア中央部 20世紀初期



講演会

日時: 5月5日(祝・木) 午後2時~3時30分
テーマ: 磁州窯のやきもの
講師: 今井 敦氏
(東京国立博物館学芸企画部博物館情報課課長)

文化財特別講座

日時: 4月29日(祝・金) 午後2時~3時30分
テーマ: 工芸品を守り伝える一保存と公開とのはざまー
講師: 伊東 哲夫氏
(文化庁文化財第一課文化財調査官(工芸品))

新館レクチャー

日時: 4月23日(土) 午後2時~3時30分
テーマ: ペルシア絨毯の多様な文様について
講師: 吉田 雄介氏
(せとうち観光専門職短期大学准教授)

ワークショップ

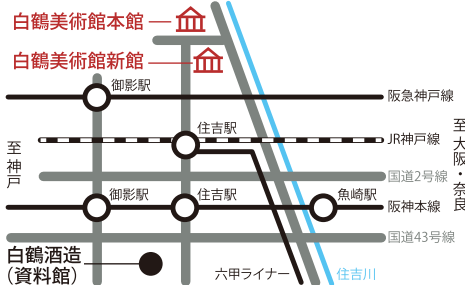
日時: 5月1日、8日、15日、22日、29日の各日曜日
午後1時~3時
テーマ: クルッと反転! 紙が要のミニ屏風
指導員: 甲南大学ワークショップ指導員

アートトーク

日時: 6月5日(日) 午後2時~3時30分
テーマ: 宋の陶磁器、明の陶磁器
講師: 当館学芸員

スライド解説

日時: 3月6日(日)・20日(日) 午後2時~3時
5月14日(土)・28日(土) 午後2時~3時
テーマ: 展示品の魅力
講師: 当館学芸員



- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統渦森台行き「白鶴美術館前」下車
 - 阪急神戸線「御影駅」から 北東約1km(徒歩15分)
 - お車で越しの場合 阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km 姫路・明石方面「摩耶出口」から約6km
- * 無料駐車場あり(大型バスも可)

* 団体でご来館の際には、事前にお電話にてご確認ください。
* イベントは要入館料、定員40名、状況に応じて中止する場合があります。

次回秋季展は2022年9月23日(祝・金)から開催予定です。

公益財団法人 白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1
お問い合わせ先
TEL / FAX 078-851-6001